

世界の気温「100年後1.8～4度上昇」

地球温暖化の科学的根拠を審議する「気候変動に関する政府間パネル第1作業部会」会合がフランスで開かれた。温暖化は確実に進み、人間活動による温室効果ガス排出が要因の可能性がかなり高いことを確認。21世紀末に、リサイクルなど循環型の社会を実現しても約1.8度、石油など化石燃料に依存し高度経済成長した場合だと約4度と、気温上昇は避けられないと予測した。(1日)

敬語5分類の指針

文化審議会は「敬語の指針」を伊吹文部科学大臣に答申した。これまで一般に「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」に3分類されていた敬語が、「尊敬語」「謙譲語1」「謙譲語2(丁寧語)」「丁寧語」「美化語」の5分類に改められた。(2日)

センター試験の受験者数増加

大学入試センターは、1月に実施した2007年度センター試験の最終結果を発表した。再試験・追試験を含めた総受験者数は51万1272人で、前年より4813人多かった。総受験者数が前の年より増えたのは4年ぶり。志願した55万3352人に対する受験率は92.40%で、前年度から0.55(ポイント)上がった。(7日)

いじめメール700回、中3の2人逮捕

「死ぬ」などと中傷するメールを同じ中学校の女子生徒の携帯電話に匿名で700回以上送りつけたとして、奈良県警は、同県天理市立中学校3年の男子生徒2人を県迷惑防止条例違反(電話などによる嫌がらせ)の疑いで逮捕した。女子生徒がメールアドレスを変えた後も、友人から新アドレスを聞き出して、メールを送り続けていた。女子生徒本人が昨年12月に県警に被害届を出し、学校にも相談していた。(8日)

全国学力調査、犬山除く全公立校で

4月に約40年ぶりに行われる小6・中3対象の全国学力調査について文部科学省は、国公立は愛知県犬山市を除く全学校、私立は全体の約62%が参加すると見通しを発表した。犬山市は「調査が教育理念にあわない」とした。(16日)

生徒3人を書類送検

去年10月に自宅で自殺した福岡県筑前町立三輪中学2年の森啓祐君(当時13)に対し、集団でいじめをしていたとして、県警は2年生の男子生徒3人を暴力行為等処罰法違反(共同暴行)の疑いで書類送検し、2人(当時13歳以下)を同法違反の非行事実で児童相談所に通告した。県警は「少年の健全育成」をめざし、「処罰を求めるものではない」と発表。5人とも行為を認め、反省しているという。(19日)

出生率1.3台回復へ

厚生労働省が発表した人口動態統計の速報によると、国内で2006年に生まれた子どもの数は外国人も含め112万2278人と前年より3万2041人多く、1人の女性が一生に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は過去最低だった05年の1.26から06年は1.3台に回復する見通しとなった。(21日)

私立中72校で必修漏れ

文部科学省によると、全国の私立中学72校で必修科目の履修漏れがあったことがわかった。音楽や美術など受験と直接関係がない科目が中心で、教科自体が設けられていなかったり、授業時間が著しく少なかったりしている。(27日)